



いぼりの里だより

月刊一第236号

2026年

10月号

社会福祉法人回精福祉会

- ・いぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・ワークいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・フレンドいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型/就労移行支援）

※ホームページは → Google「いぼりの里」で検索

Instagramは → ホームページから「iborinosato2」で閲覧

・地域活動支援センターいぼりの里

・日中一時支援事業いぼりの里

・グループホームいぼりの里

・障害者相談事業所いぼりの里

一般相談と計画相談受けたまわります



9/29 お楽しみ献立（冷やし中華）

令和8年9月8日（火）に愛知県では「線状降水帯」が発生し、観測史上初の1時間に100ミリを超える記録的な猛烈な大雨が降りました。この大雨により冠水や浸水など大きな被害が発生、稲沢市においても午後5時55分に気象台からレベル4大雨危険情報が発表され、市内では道路や地下道に雨水が流れ込み、冠水がありました。床上浸水の被害も確認されました。いぼりの里では、午後4時の帰りの送迎のとき雨脚はかなりひどくなりましたが、そのまま送迎開始、午後5時には利用者みなさまを無事自宅まで送ることができました。雨の降る時間帯がずれていてよかったですが、今後このようなことが起こる可能性は十分にありますので注意が必要であることを痛感しました。

さて、先々月、先月に引き続き、今月も「愛知県相談従事者現任研修」の内容を掲載します。7月の1回目は、「個別相談支援」、8月の2回目は、「チームアプローチ」、そして10月の3回目は「コミュニティワーク」を1日かけて学びます。この障害者相談支援における「コミュニティワーク」とは、日本語で「地域援助技術」といい、地域社会が抱える福祉課題やニーズを解決するために、地域住民の組織化や社会資源の開発、関係機関のネットワーク構築などを支援するソーシャルワークの手法です。個人を対象とする「ケースワーク」、異なる専門職が連携して対象者を支援する「チームアプローチ」、地域全体を対象とする「コミュニティワーク」と障害者の相談支援事業を展開していきます。いぼりの里相談事業所では、地域の障害者のみなさまからお困りごとの相談を受けますが、一事業所で解決できないことは、稲沢市社会福祉協議会の「障がい者基幹相談支援センター」に課題を報告します。さらに基幹相談支援センターは、稲沢市地域自立支援協議会の中の運営会議に課題を報告し、運営会議が課題の整理を行います。また、協議会の中には分野別の部会があり、より詳細な検討が行われ、運営会議に提言が行われます。新サービスの決定・承認があり、稲沢市が取り組むことで支え合うコミュニティが生まれ変わります。利用者さまのお困りごとは、個人だけのものではなく、地域に複数の方が困っており、地域全体を取り巻く課題でもあります。一人のお困りごとの相談が社会を変え、障害者のみなさまが地域で安心して暮らせるようになるのです。稲沢市にはその仕組みがあります。

最後に、おかげさまでいぼりの里は今年の令和8年9月21日で20年になりました。利用者みなさま、ご家族さま、地域・関係機関のみなさまに心より感謝申し上げます。記念事業として利用者さまに喜んでいただきたくため『レゴランド・ジャパン』へのご招待を決めました。みなさまにとって記憶に残る一日となればと思っております。今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。『レゴランド・ジャパン』の詳細については、後日ご案内させていただきますが、9月28日に愛知県でインフルエンザ注意報が発令されました。今後、警報になった場合は、開催時期を変更しなければなりませんので、よろしくお願い申し上げます。

令和8年10月1日 障害者相談事業所（理事） 上條 正木

〈防災訓練〉9月16日（水）防災（地震・火災・BCP）訓練を行いました。

利用者さまにはまず頭を守りましょうと伝え、机の下に潜り込む訓練を取り入れました。その後、地震から火災が発生した想定です。いぼり、ワーク、フレンドの利用者のみなさんは職員の指示に従い別棟の建物へ避難ができました。

